

# 2014年

## こんなことがありました



①



②



③

1億4000万個の星を再現できる  
世界一の機器



④

唐人屋敷象徴門（誘導門）  
【丸囲みの部分】



⑤

青潮学園での学年間交流（9年生が5年生に読み語り）



⑥

2014年は、長崎では45年ぶりとなる「長崎がんばらば国体」、そして初めての「長崎がんばらば大会」(全国障害者スポーツ大会)が開催され、大いに感動しましたね。そのほか、2つの世界遺産の登録に向けた動きが進むなど、話題が尽きない1年でした。2014年の長崎の主な出来事を振り返ってみましょう！

### 1月

- 小学生から60代までの市民役者が出演した市民参加舞台「長崎なう～私たちの街から～」を公演(①)

### 2月

#### ●長崎みなとメディカルセンター市民病院開院(②)

県内初導入の放射線治療装置「サイバーナイフ」などを備え、新しい建物で診療を開始しました。

### 3月

- 長崎市直営の太陽光発電所「ながさきソーラーネット[メガ]三京発電所」が開所
- 科学館のスペースシアターがリニューアル(③)
- 広馬場商店街入口に唐人屋敷象徴門(誘導門)完成(④)
- 新長崎市史第三巻「近代編」を刊行(全4巻完成)

### 4月

#### ●野母崎小中一貫「青潮学園」開校(⑤)

市内初の公立の小中一貫校として、1年生から9年生(中学3年生)までが共に学び始めました。

- 旧香港上海銀行長崎支店記念館リニューアル(「長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム」を新たに開設)(⑥)
- ニューヨークで開催された核不拡散条約(NPT)再検討会議準備委員会に市長が出席し、核兵器廃絶を訴える

## 5月

### ●語り継ぐ家族の被爆体験事業開始 (7・8)

被爆二世・三世などのかたが、これまで身近に寄り添ってきた被爆者の被爆体験を語り継げるよう、被爆証言の記録や講話の練習などの支援を始めました。

- 長崎ペンギン水族館来館者 300万人達成
- 遠藤周作文学館企画展リニューアル



話し方の研修



祖父の被爆体験を語る家族

## 6月

- 市役所でサッカーワールドカップのパブリックビューイングを開催 (9)
- 平和公園周辺地区の道路整備を考えるワークショップを開催



9

## 7月

- 高浜アイランド (野母崎高浜海岸交流施設) オープン (10)



10

## 8月

- 長崎市で初めての平和祈念式典の開催に尽力したビクター・デルノア氏を顕彰し、「デルノア通り」の看板を復刻 (11)
- 被爆69周年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典を開催 (12)
- 世界の子どもたちと、言葉や文化の違いを越えて平和を語り合う「世界こども平和会議」プレ大会開催



11

### ●日本PTA全国研究大会が長崎で開催 (13)

全国から約9,300人が集い、子育てに関するさまざまなテーマについて話し合い、子どもを守るための大会宣言が決議されました。

- 科学館来館者 250万人達成



12



13

2014年の出来事  
まだまだあるよ!!





⑭

## 9月

- 市民の出資による太陽光発電所「おひさま Net 第1号」発電所が高城台小学校屋上で開所 (⑭)

## ●「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」が世界遺産に推薦決定 (⑮)

「長崎の教会群」について、日本政府がユネスコ(国連の機関)に、世界遺産への推薦書(暫定版)を提出しました。



⑮

「長崎の教会群」構成資産の一つ 大浦天主堂と関連施設

## 10月

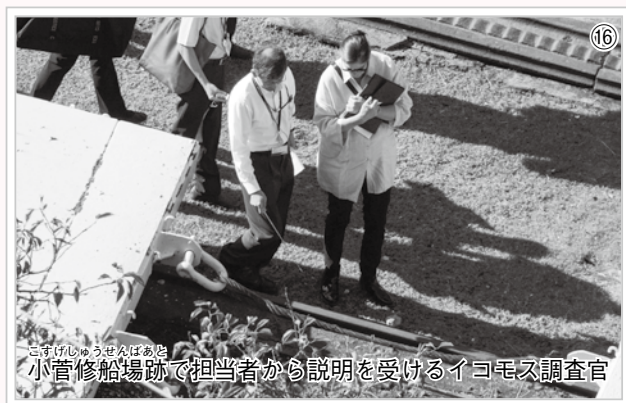
## ●「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」を専門機関が現地調査 (⑯)

構成資産の保全状況などを確認するため、ユネスコの諮問機関であるイコモスの調査官が現地調査を行いました。

- 長崎ロマンティックイルミネーション開催(今年1月25日(日)まで) (⑰)

## ●長崎がんばらんば国体開催 (⑱～⑳)

長崎市内では、ライフル射撃や体操(競技)などが開催され、トップレベルの選手たちのプレーに魅了されました。(水泳競技は9月開催)



⑯

小管修船場跡で担当者から説明を受けるイコモス調査官

## 11月

## ●長崎がんばらんば大会開催 (㉑・㉒)

長崎市内では、車椅子バスケットボールやフライングディスクなどが開催され、熱戦が繰り広げられました。

- 鯨の食文化について考える「全国鯨フォーラム 2014長崎」を開催



⑰

## 12月

- クルーズ客船の入港数が、73隻(2012年)を上回り、過去最高に



⑱



⑲



⑳



㉑



㉒

# 2015年

## 何があるの？

# 未

## 平和の発信

今年は被爆70周年を迎えます。市民の皆さんと連携しながら、音楽や演劇などのイベントや被爆の実相を掘り起こす記録集の出版、さらに、世界150カ国以上の国の子どもたちが集う「世界子ども平和会議」などの記念事業を開催します。

また、核兵器と戦争の廃絶を目指して各国の科学者が話し合う「第61回パグウォッシュ会議世界大会」が長崎で開催されます。



世界子ども平和会議（昨年のプレ大会の様子）

「産業革命遺産」  
構成資産の一つ  
端島炭坑  
(通称：軍艦島)



「長崎の教会群」  
構成資産の一つ  
出津教会堂と関連施設

## 世界遺産登録に向けて

昨年のイコモスの調査結果をもとに、ユネスコの世界遺産委員会で、「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」の世界遺産への登録の可否について審議が行われます。「登録が適当である」と判断されれば、世界遺産への登録が正式に決定します。

また、「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」について、構成資産の保全状況などを確認するため、イコモスによる現地調査が行われます。

2つの世界遺産があるまちの実現に向かって、今年にはさらに歩みを進めます。

## 協働のまちづくり

“長崎のまちはみんなで作る”という取り組みを進めるため、まちづくりの基本的なルールや役割分担などを定める「(仮称)長崎市よかまちづくり条例」を今年中に制定する予定です。

多くの人に使ってもらえる条例とするため、作る段階から市民の皆さんにご参加いただきながら、さらに条例の検討を進めていきます。



昨年開催した意見交換会の様子